

2008年4月16日
北海道ガス株式会社

2008 中期経営計画「Progress2020」について

このたび当社では、天然ガス転換後の「当社グループが目指す姿」と2020年までの将来を見据え、今後5ヵ年（2008～2012年度）で取り組むべき課題を明確にした「2008 中期経営計画～Progress2020」を策定いたしました。

この中期経営計画では、安全高度化に向けた取り組みの着実な推進による「お客さまの安全・安心の確保」をベースに、環境問題や原油高を背景にニーズが高まりつつある天然ガスの一層の普及拡大、長期的な視点に立った天然ガス供給基盤の確立等を重点課題と位置づけており、本計画の着実な推進によって持続的な成長を目指してまいります。

北ガスグループの目指す姿

「安全・安心・安定供給」をベースとした地域に根付いた都市ガス事業を中心とするエネルギーサービスグループを目指します。

天然ガス文化を北海道で浸透・定着させ、2020年度までに年間ガス販売量7億 m^3 を目指します。（家庭用2億 m^3 、業務用・産業用5億 m^3 ）

中期経営計画における重点課題

重点課題：安全高度化の着実な推進

北見地区天然ガス転換の完遂

2009年3月～8月に実施する天然ガス転換作業に向け、準備を着実に進めていきます。

経年管対策の推進

ねずみ銹鉄管について、北見地区は2008年秋まで、全社では2011年までに入れ替え等の対策を完了させます。また、保安上重要とされている建物の白ガス経年埋設管対策については2015年の完了を目指し、お客さまのご理解をいただきながら可能な限り前倒しできるよう努力します。

安全型機器への買い替え促進

不完全燃焼防止装置のない半密閉式の湯沸器・風呂釜を対象に安全型機器への買い替えを促進し、2012年度までに対策完了率おおむね100%を目指します。

保安レベルの向上

保安教育の充実・強化を進めるとともに、保安対策委員会による各種保安施策の進捗チェック、保安に係わるリスクへの迅速な対応を行ってまいります。

地震等非常災害対策の推進

2011年の全システム運用開始を目指し、ガバナ遠隔監視制御システムの整備を進めるとともに、地震等の非常災害発生に備えた復旧体制の確立、各種要領・資材等の整備を行います。

重点課題 : 地域深耕営業の強化

持続的な成長を可能とする事業・収益基盤を確立するため、家庭用および小口業務用における天然ガス普及拡大を図ります。

環境性に優れた天然ガスを有効利用する省エネ機器・システムの普及に努めることで、お客さま先でのCO2削減に貢献します。

【家庭用】

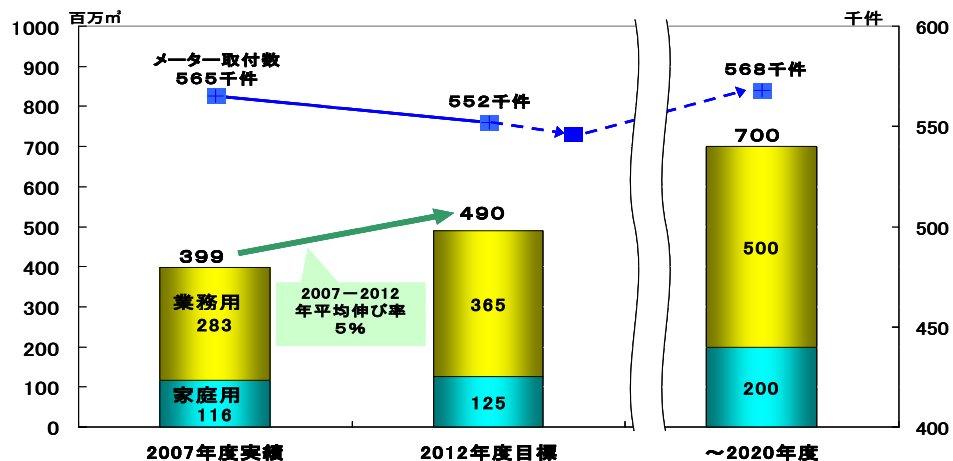
新築市場においては、分譲マンションにおけるシェア維持と一戸建住宅におけるシェア向上に努めます。既設市場においては、需要の維持に加え、給湯・暖房をターゲットとした天然ガスへの燃料転換を積極的に推進します。

- ・ エンドユーザー向けのワンストップサービスの提供、家庭用・小口業務用を中心とする天然ガス需要開発営業の拠点として地域総合チャンネルを新設します。(札幌地区を4エリアに分割。2010年度から本格稼働)
- ・ 天然ガス転換完了に伴う要員再配置により営業体制を強化します。(2010年)
- ・ エコウィル(家庭用コージェネレーションシステム)、エコジョーズ(高効率給湯暖房機)を中心とした省エネ機器・システムの普及に努めます。
- ・ 寒冷地向け家庭用燃料電池の開発を推進するとともに、市場導入に向けた環境を整備します。

【業務用・産業用】

中小規模の業種別営業を強化するとともに地域総合チャンネルとの連携による営業を展開します。また、ソリューション営業によるエネルギー有効利用提案を強化するとともに、ESP(エネルギーサービスプロバイダ)事業、ESCO(エネルギーサービスカンパニー)事業を推進します。

ガス販売量目標



重点課題 : 長期的な視点に立ったガス供給基盤の確立

石狩LNG(液化天然ガス)基地の建設

- ・北海道におけるエネルギー供給基盤の確立、供給源多様化による供給セキュリティの向上、将来の需要拡大を踏まえた長期インフラの整備を目的に、石狩湾新港地区に大型LNG基地を建設いたします。(予定工期:2008年8月地盤改良工事着手、2013年12月運転開始)
 - ・「北海道のエネルギーインフラとしての社会的意義を担う基地」として広く活用されるよう、共同出資による基地会社を設立する予定です。また、基地会社設立に向け、具体的な事業内容等について検討を行う企画会社を道内ガス事業者とともに設立します。(2008年5月中旬設立予定)
- 詳細は別紙「石狩LNG基地の建設計画ならびに企画会社の設立について」(本日付当社発表資料)を参照

重点課題 : グループ構造改革の推進

北ガスグループを「エネルギー事業をコアとした」「効率的で」「生産性の高い」グループ企業体につくりかえます。

グループ 構造改革の ポイント

- ・ エネルギー事業への経営資源集中により営業体制を強化します。
- ・ 業務・機能の統合・集約によりスリム化と生産性向上を目指します。
- ・ 本社機能の統合によりグループ戦略立案機能を強化します。
- ・ グループ内の連携強化により組織活力を醸成します。

経営目標等

経営目標

	2008年度		2012年度		~2020年度	
	連結	単体	連結	単体	連結	単体
都市ガス販売量	417百万m ³		490百万m ³		7億m ³	
売上高(百万円)	69,000	52,450	76,000	58,750	1,000億円	800億円
経常利益(百万円)	1,650	1,000	2,300	1,500	50億円	35億円
当期純利益(百万円)	900	600	1,000	850	30億円	20億円
自己資本比率	—	24.6%	—	25%	—	30%台後半

<基本的な考え方>

LNG基地をはじめとする供給基盤整備を進めるとともに他エネルギーとの競争力を確保しつつ、長期にわたる安定的な経営を維持するため、財務の安定性を確保すべく、引き続き自己資本比率の維持・向上に努めます。当計画期間中は、現在の自己資本比率である約25%の水準を維持しながら、2020年度には30%台後半にまで向上させるべく、一定の利益水準確保と経営の効率化に努めます。上記の経営目標を目指す中で、可能な限りお客さまや株主等のステークホルダーへの利益還元をはかります。

設備投資計画

設備投資額合計 (百万円)	2007年度 (実績見込)	2008年度 (計画)	対前年度 増減	08~12年度 5カ年合計	各年度平均
		6,807	8,516	+1,709	30,798

※石狩LNG基地関連および転換繰延対象額、無形固定資産は除く

以上